

年 組 名前:

問1

富士吉田市内で始める

「ワイレス給電」の

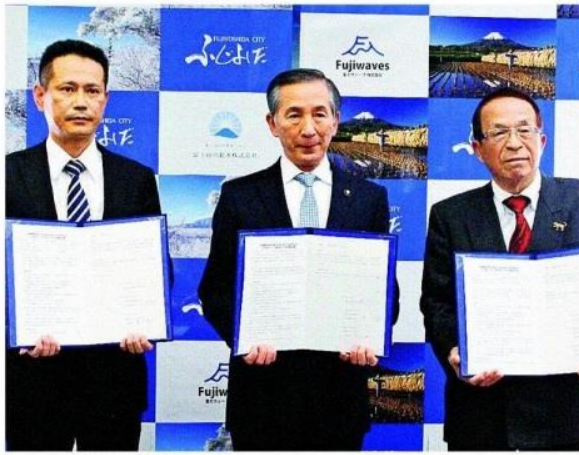
実証実験とは、

どのような実験ですか。

.....

ワイレス給電実験へ

富士山の銘水など 家電に活用めざす



協定を結んだ富士山の銘水、富士ウェーブ、富士吉田市の代表者
＝富士吉田市役所

ミネラルウォーター製造販売の「富士山の銘水」(富士吉田市上吉田、粟井英朗社長)などは28日、電線を介さずに走行中の電気自動車(EV)に電力を送る「ワイレス給電」の実証実験を富士吉田市内で始めると発表した。2023年度から実験を始め、データを収集。ワイレス給電を活用した家電製品の生産につなげることを目指す。

実証実験を行うのは、ほか、県内の例目となる。にグループ会社の「富士ウェーブ」(同所、溝内竜士代表取締役)と富士吉田市。同様に設置した金属板に電力を送る「電界結合方式」を研究している。市内に広さ約10万平方メートルのテストコースを整備し、来年度早々から実証実験を始める。将来的には市内の一般道に導入することを計画している。

富士ウェーブなどは甲斐市の日本航空学園内でも同様の実証実験を計画している。今回は、富士北麓地域の新たな交通インフラにつなげようという取り組みをスタートさせる。28日は、ワイレス給電の実証実験を含む地域振興に関する協定を三者が結んだ。協定によると、「富士山の銘水」が新工場を建設し、天然水や浄水サーバー、ワイレス給電を活用した家電製品、富士山の水を使った化粧水、消毒に利用される次亜塩素酸水などを生産する。

富士吉田市と両社が共同出資して新会社を設立し、製品

〈仲沢篤志〉

問2

(2022年11月29日付 山梨日日新聞7面)

同様の実験を富士吉田市内以外に、何市のどこで計画していますか。

.....

の販売を手掛けて利益の一部を地域に還元していくことも協定に盛り込んだ。新工場は来年3月着工、同12月完成を見込んでいる。

溝内代表取締役は実証実験について、「研究開発を進め、地域の観光資源とも融合した新たな都市づくりの役に立ちたい。富士吉田市から日本に、世界に発信していきたい」と話した。

問3

あなたは、今後、「ワイレス給電」の技術を、何に使えるか良いと思いますか。

自由に書いてください。

.....